

近江ととこに

目指すは日本一

▶ひこにやんも激励会に駆けつけた。



彦根市の激励会開かれる



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

▶センバツに向けて抱負を語る高内君



赤鬼の春II 12

3月12日にアルプラザ彦根6階で、第90回選抜高等学校野球記念大会に出場する本校野球部と近江高校野球部の激励会が行われた。両校野球部は善住喜太郎市教育長や議会の八木嘉之議長などから激励を受けた。また両校の監督が挨拶され、主将がセンバツへの抱負を述べた。

彦根市役所の改築工事のため、仮庁舎のあるアルプラザ彦根で行われた激励会では、善住市教育長や八木議長が本校と近江高校の両校野球部に激励の言葉や激励金を贈られた。

激励会の始めには近江高校の松村良樹校長と多賀章仁監督が挨拶された。

その後、本校野球部の監督の村中隆之先生が挨拶された。村中先生は「センバツに出場できるのは喜ばしいこと。しかしそれ以上に、隣の近江高校と甲子園に乗り込んでいけることは本当に誇らしく、うれしい。近江高校とともに楽しんで、上位を目指していきたい」と話された。

次の善住市教育長の激励では「近江ブルーのスタンドと赤鬼魂のレッドのスタンドのなかで、紫紺の優勝旗を目指して決勝で対戦する選手の姿を市民が期待している。悔いのないプレーで頑張ってください」と、八木議長の激励では「感謝の気持ちを忘れずにより長く甲子園でプレーできるように願っています」といった言葉が両校野球部に送られた。その後には来賓紹介や善住市教育長や八木議長からの激励金の贈呈が行われた。

続いて両校野球部主将が決意表明をした。本校野球部主将の高内希君(2-8)は「近江高校とともに日本一を目指して最後まで全力プレーを貫き、彦根市に良い結果を報告できるように頑張ります」と意気込んだ。

最後に本校の森田恭司校長先生が挨拶され、両校に向けて「正々堂々と持てる力の全てを發揮して勝ち進んでほしい」とエールを送られた。

近江高校の多賀監督は「いつも交流しているチームと一緒に甲子園に行けることは素晴らしいことだ」と話された。

本校野球部OBで後援会会長の中村善一郎さんも激励の場におられ「春はまだ勝てないので頑張ってください」とメッセージを送られた。



▲善住市教育長と八木議長から激励金をいただいた。